

◆団体基本情報

No.	16	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台市スポーツ振興事業団		
所在地	〒980-0012 仙台市青葉区錦町一丁目3番9号						
電話番号	022-215-3201		FAX番号	022-215-3575		所管 部局	文化観光局 スポーツ振興課
団体ホームページ	https://www.spf-sendai.jp/						
代表者職氏名	理事長 佐藤 良一			設立年月日	平成3年3月26日		
資本金・基本財産	100,000 千円		市の出捐額(割合)	100,000 千円 (100.0%)			
設立目的	仙台市民が生涯にわたりスポーツ等に親しむことができるよう、その普及振興を図り、心身の健全な発達と明るく豊かで潤いのある生活の実現に寄与することを目的とする。						
事業概要	(1) 各種スポーツの普及振興事業 (2) スポーツ情報の収集・提供事業 (3) スポーツに関する調査・研究事業 (4) 仙台市からの受託事業 (5) スポーツ施設の管理運営事業						
評価対象決算期	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日						

◆人員等の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①常勤役員数	2 人	2 人	1 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	1 人
②常勤役員平均年齢	63.0 歳	64.0 歳	62.5 歳
③常勤役員平均年間報酬	5,139 千円	5,428 千円	4,908 千円
④職員数	166 人	163 人	170 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	1 人	1 人
⑤職員平均年齢	43.0 歳	44.6 歳	44.8 歳
⑥職員平均年間給与	3,207 千円	3,345 千円	3,373 千円

◆主要財務データ

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①当期経常増減額	21,345 千円	35,960 千円	48,812 千円
②当期経常外増減額	2,270 千円	0 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	21,862 千円	35,057 千円	47,147 千円
④一般正味財産期末残高	255,706 千円	290,763 千円	337,910 千円
⑤指定正味財産期末残高	100,000 千円	102,070 千円	102,070 千円
⑥正味財産期末残高	355,706 千円	392,833 千円	439,980 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
①市からの補助金	198,610 千円	197,589 千円	189,961 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	1,134,896 千円	1,150,573 千円	1,196,821 千円
③市に対する収入依存度	87.93 %	89.03 %	92.30 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和2年度事業費
大会運営等事業	令和2年度実績 事業課主催 2事業 参加者数3,613人 スポーツ大会開催・派遣等助成 10件	6,042 千円
スポーツ振興事業	令和2年度実績 14施設主催 288事業 参加者数75,261人	56,782 千円
情報収集提供事業	河北ウィークリー記事掲載（年14回 約45万部） 事業団HP, 各施設HP	2,574 千円
マイタウンスポーツ活動推進事業	学区民体育振興会や地域団体が主催するスポーツイベントの開催助成, マイタウンスポーツデー開催	4,582 千円
スポーツコミッション事業	スポーツイベントの誘致及び開催支援, スポーツシンポジウム, セミナー等の開催, 「せんだいボランティアステーション」運用	3,679 千円
施設管理受託事業	指定管理者間（民間企業含む）の運営管理, 修繕及び利用に係る調整業務並びに広報の実施等	82,126 千円
施設管理運営事業	指定管理者として宮城県・仙台市のスポーツ施設の管理運営（10協定17施設）	1,124,170 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	安心・安全なスポーツ施設の管理運営に努め、利用者のニーズに合った自主事業を展開している。また、仙台市及び地域団体との連携を強化し、スポーツイベントの誘致やボランティアの育成への取り組みを推進することで、仙台市スポーツ推進計画の基本目標である「する・みる・ささえる・ひろがる」スポーツの実現に向けて努めてまいりたい。	新型コロナウイルス感染症対策を含め安心安全な施設の運営管理に引き続き努めていたいただきたい。また地域との連携を強化するなどの公益法人としての事業活動の推進に期待する。
2. 業務・組織管理	持続的な組織管理に向け、培ってきた知識・経験を施設管理のノウハウとして蓄積している。令和2年8月に「人材育成計画」を策定し、教育体系や評価体系を明確化し、人材育成に取り組んでいる。今後も組織目標を設定し評価・改善することで、さらなる発展に努めてまいりたい。	職員の年齢構成等を考慮し長期的な視点で、計画的・継続的に、未来の担い手となる人材育成及び組織管理に取り組んでいただきたい。
3. 財務状況	仙台市への収入依存度は高いが、経費節減により黒字となっている。この黒字や指定管理業務で得た仙台市報奨金等は、施設・設備の安全性・機能性向上のための投資や、スポーツ活動普及・振興等の公益目的事業に費消している。自立安定的な経営に向け、今後も真摯に取り組んでまいりたい。	新型コロナウイルス感染症の影響により見通しが困難な状況ではあるが、自主事業の収益確保、効率的な施設運営に努め、自立安定的でかつ適正な経営を行っていただきたい。
4. 今後の方向性及び課題	スポーツ施設の指定管理者公募において継続的に指定を受けるため、利用者のニーズに柔軟に対応した新たなサービスの提案や経費節減・収益確保に努めてまいりたい。また、仙台市の施策への理解を深め、連携を密にし、仙台市のスポーツ振興に積極的に取り組んでまいりたい。	社会情勢やライフスタイルの変化を的確にとらえ利用者のニーズを把握し、本市と連携を密に図りながら、積極的な事業展開に取り組んでいただきたい。